

余裕

2026.5.1発行

伊豆市【No.88】

議会だより



本号の
ポイント!

P.4 令和8年度当初予算 税金がどう活用される

3月定例会で審議した議案

※詳細はホームページをご覧ください 録画配信はこちら▶



全会一致で可決、報告・承認した議案等	
令和7年度伊豆市一般会計補正予算(第9回)	令和7年度伊豆市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)
令和7年度伊豆市介護保険特別会計補正予算(第2回)	令和8年度伊豆市7財産区特別会計予算
伊豆市緊急地震・津波対策基金条例の廃止について	伊豆市職員の給与に関する条例等の一部改正について *賛成討論(木村議員)
門野原財産区、田沢財産区及び矢熊財産区の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	伊豆市火入れに関する条例の一部改正について
伊豆市手数料徴収条例の一部改正について	伊豆市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について
伊豆市土肥診療所条例の廃止について	伊豆市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について
伊豆市非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	伊豆市過疎地域持続的発展計画の変更について
門野原財産区有財産の無償譲渡について	田沢財産区有財産の無償譲渡について
矢熊財産区有財産の無償譲渡について	伊豆市教育委員会委員の任命について

賛否が分かれた議案	議員名													議決結果	
	尾垣和則	飯田大	浅田藤二	小川多美子	黒須淳美	鈴木優治	波多野靖明	間野みどり	青木靖	三田忠男	小長谷順二	森良雄	木村建一		
専決処分の報告及びその承認について(令和7年度伊豆市一般会計補正予算(第8回))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	報告承認
令和7年度伊豆市一般会計補正予算(第10回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
令和7年度伊豆市水道事業会計補正予算(第3回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
令和8年度伊豆市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和8年度伊豆市公共用地取得事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和8年度伊豆市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和8年度伊豆市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和8年度伊豆市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和8年度伊豆市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和8年度伊豆市下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
伊豆市営住宅条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
伊豆市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
伊豆市国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
財産の減額譲渡について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和7年度伊豆市一般会計補正予算(第11回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和7年度伊豆市水道事業会計補正予算(第4回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和7年度伊豆市下水道事業会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※議長(下山 祥二)は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。
※詳細は定例会最終日の録画配信をご覧ください。

アクセスはこちら▶



令和8年伊豆市議会

3月定例会

会期：令和8年2月20日(金)～3月25日(水)

◆会期日程及び議会活動

月	火	水	木	金	土	日
2/16	17	18	19	20 本会議初日 全員協議会 議会広報委員会	21	22
23	24 全員協議会 総務経済委員会 議会運営委員会	25	26	27	28	3/1
2	3	4	5	6 議会運営委員会 本会議2日目 (議案質疑) 総務経済委員会	7	8
9 総務経済委員会	10 教育厚生委員会	11 本会議3日目 (代表質問) (一般質問)	12 本会議4日目 (一般質問)	13	14	15
16 連合審査 (総務経済委員会 所管分)	17 連合審査 (教育厚生委員会 所管分)	18	19	20	21	22
23	24	25 本会議最終日 全員協議会 議会広報委員会	26	27	28	29



※会期日程以外の詳しい議員の活動はホームページに掲載

アクセスはこちら▶



要チェック議案



- ・議案第2号 令和7年度伊豆市一般会計補正予算(第9回)
- ・議案第3号 令和7年度伊豆市一般会計補正予算(第10回)
- ・議案第7号 令和8年度伊豆市一般会計予算

令和7年度伊豆市一般会計補正予算(第9回)

詳細 ※1万円未満は切り捨て

総務費：戸籍住民基本台帳費【381万円】

(戸籍情報システム改修業務委託料の増、住民基本台帳システム改修業務委託料)

民生費：介護保険費【115万円】

(介護保険特別会計繰出金の増)



令和7年度伊豆市一般会計補正予算(第10回)

詳細 ※1万円未満は切り捨て

衛生費：予防費【150万円】

(出産準備金の増、妊婦のための支援給付交付金の増)

消防費：消防施設費【560万円】

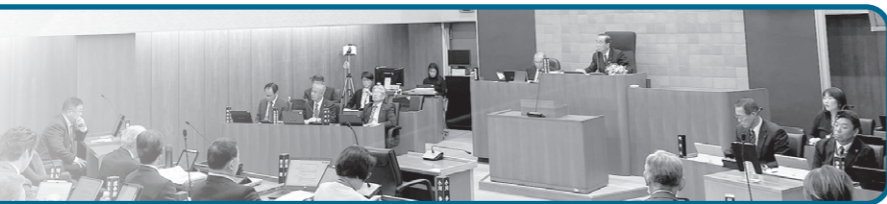
(消防団詰所解体工事)



解体される城の消防団詰所

3/16・17

連合審査



令和8年度伊豆市一般会計予算

質疑

(総務経済委員会所管)

Q 有害鳥獣被害対策事業の新規事業として、捕獲のICT化の説明と報告書のDXを進めること、GPSを用いた捕獲情報の可視化は、どのようなアプリを使ってやるのか。

A アプリは、いくつかの会社から、プロポーザルで決めるように考えています。現在、捕獲の報告をすべて紙で提出しており、捕獲した場所も大字ぐらゐは記載されていますが、アプリには、写真付きのGPS機能があるため、伊豆市全体の捕獲されたところなど、地図で見える化ができるため、そのような活用を考えています。



Q 火山防災ハザードマップ作成事業について、伊豆市内において火山というものは、どの辺りの山を想定するのか。

A 伊豆市内の火山ではなく、伊東市内の火山によって中伊豆の沢口地区に影響があり、火山系災害警戒区域に指定されており、同地区のハザードマップを作成するものです。

Q 外国語指導助手業務委託料が昨年度と比べ、減額となった理由とALTの配置と人数は。

A 委託料の減額は、学校統合によるALT1名減に加え、令和7年度は契約前の予定額、令和8年度は実際の契約額に基づき予算計上したことに由来するものです。



質疑

(教育厚生委員会所管)

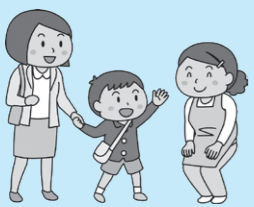
Q 賦課徴収事務事業の口座振替以外の収納方法は。

A コンビニエンスストアでの納付、クレジットカードやQRコードを使ったスマホ決済などの収納を、可能としています。



Q こども誰でも通園事業の職員の配置体制は。

A 今回実施するのは、私立園のなかいず認定こども園とあまぎ認定こども園で、職員配置等の空き枠を利用して実施します。



令和8年度当初予算

税金の使いみちは?!

何に使う?



全会計328億5,190万円の予算を可決
(一般会計:216億6,900万円)

各会計総括表

会計名	令和8年度予算額
一般会計	216億6,900万円
特別会計	
公共用地取得事業	3,857万円
国民健康保険	38億2,900万円
後期高齢者医療	6億8,900万円
介護保険	38億1,740万円
財産区(7財産区)	459万円
企業会計	
水道事業	10億330万円
下水道事業	18億105万円

※1万円未満を四捨五入しています。

重点事業

○今後も魅力ある「伊豆市」として成長していくため、歴史、文化、市民の生命、財産などを大切に守ると同時に時代の変化に柔軟に対応できるまちを目指す

「守りながら変わり続ける」伊豆市プロジェクト

守る 変わる

ひなた公園・危機管理センター管理、耐震改修促進などの事業
デジタルアーカイブ導入、新たな観光振興財源検討などの事業
小学校移転、再編の検討、移住・定住促進などの事業

伊豆市の未来に、今、投資する予算

5つの重点目標

- ▶ **1. 次代を担う人材を心豊かに育むまち**
育てて育つ事業、中伊豆小学校移転整備事業
- ▶ **2. 安全・安心で心地よく暮らせるまち**
特定健診事業、ひなた公園・危機管理センター管理事業
- ▶ **3. 人が集い活力あふれるまち**
新たな観光振興財源検討事業、地域おこし協力隊推進事業
- ▶ **4. 人と自然が調和した魅力あふれるまち**
みんなの夢★応援補助金、修善寺駅前県道拡幅関連事業
- ▶ **5. 将来にわたって持続可能なまち**
ふるさと納税促進事業、業務効率化事業、地域づくり推進事業

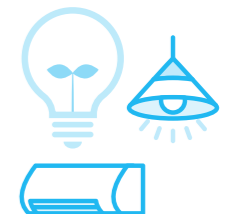


中伊豆小学校完成イメージ



注目事業

- ▶ **物価高騰対策事業(重点支援地方交付金活用事業)**
給付型商品券(いづっち券)発行事業、省エネ家電購入費補助事業



市政を問う

～一般質問～



録画配信へ



パソコン

伊豆市議会 ライブ中継

検索からご覧ください。



Andoroid スマートフォン

QRコードを読み取るアプリをダウンロードしてご利用ください。



iPhone アイフォン

カメラアプリを起動して QR コードを画面に入れ、読み込みのコードが出たらタップしてご利用ください。

※各議員のQRコードを読み取ると、全ての一般質問の様子を動画で見ることができます。

会派代表質問 IZU未来 施政方針を受けて



飯田 大議員

「第3次伊豆市総合計画」における目指すまちのテーマ「守りながら、変わり続ける」まちづくりをどのように描いていますか。また、計画の策定は、職員が起案し事業を進める行政に代わっていくと示されました。これまで市長のイニシアティブを進めてきた事業方針と今後の行政運営の違いと、なぜこのタイミングかを伺います。

答弁

自治体に共通のまちづくりの基本的な政策は、
○誰もが住みやすいまち
○産業を振興して元気なまち
○災害から市民を守る
であり、この決断が首長の責務と考えます。
これまで、合併に伴う新市建設事業の特性から、市長の影響が強かったのですが、政策原案の立案は、職員本来の役割です。大型事業が概ね終了し、行政運営の安定期を迎えた現在、そのタイミングだと考えています。



動画はこちら

会派代表質問 フロンティア伊豆 施政方針を受けて「守る」から



浅田 藤二議員

「第3次伊豆市総合計画」には、令和42年(34年後)の設定人口を1万3,600人としています。今年生まれた子どもから、今の高校生以下の世代が中心となり、担うであろうその時代に、市長は、現在から未来へ何を投資しようとしていますか。

答弁

当市が、将来にわたり魅力ある地域として成長し続けるための未来への投資として3つあります。まず、1つ目に豊かな自然や歴史への誇りと、次世代へ繋ぐ「人」への投資、2つ目に、市民の生命と財産を守り抜く「安全」への投資、3つ目に、時代の変化に柔軟に対応する「変革」への投資です。

これにより、「人」「まち」が活気に満ち、いつまでも住み続けたいと思える持続可能なまちの実現に向け礎を築いていきます。



動画はこちら ※他の質問あり

3/6

○ 議案質疑

3/9・10

○ 常任委員会



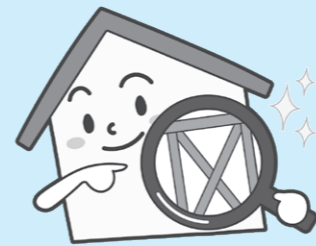
議案質疑

◆令和8年度伊豆市一般会計予算

Q 耐震改修促進事業の補助率等の変更点は。

A 新たに住宅の部分的補強を行うひと部屋耐震補強を追加しました。補助上限額は、一般世帯85万円、高齢者世帯95万円の予定です。耐震補強工事は一般世帯100万円、高齢者世帯120万円の区分を廃止し、一律115万円の予定です。

除却事業は、耐震性のない木造住宅を除却する際の補助で、上限額は50万円の予定です。



総務経済委員会

◆令和7年度 伊豆市一般会計補正予算(第10回)

Q 消防団詰所解体の理由と時期は。

A 中伊豆方面隊の統合により、維持管理が困難となり、城の詰所を解体することになりました。財源を追加できることになり、令和7年度予算で対応したいため、計上しました。

教育厚生委員会

◆伊豆市土肥診療所条例の廃止について

Q 土肥診療所を公設民営で設置した経緯は。

A 土肥町時代、人口が比較的多かった時代でも医療確保が難しく、町が主体となって整備しました。

Q 廃止後の医療体制は。

A 西伊豆健育会病院が、訪問診療を継続し、透析患者のベッド数も増床しました。今後は、市としてオンライン診療の活用も検討していきます。



委員会の概要書はこちら▶





黒須 淳美 議員

修善寺地区小学校再編の進め方や、子育て支援と職員負担の両立策、人口減少対策としての空き家活用、さらに市民と行政がともに地域を支える新たな市の姿を、どのように描くのか市長に問います。

答弁

修善寺地区小学校再編は、まずは方針を固め、保護者及び市民説明を行い、具体的なスケジュールを示します。子育て支援では市内全園を訪問し、保育士の声を聞いた結果、休日保育が大きな負担となっている現状を受け止め、令和8年度から実施方法の変更をします。空き家については、除却補助対象の拡大などに取り組みます。



動画はこちら ※他の質問あり

会派代表質問 フロンティア伊豆

施政方針を受けて「変わる」から

職員の意識改革を進めるとともに、地域のことは地域で決めるなど、市民が主体的にまちづくりに関わることを期待しています。



森 良雄 議員

津波は、地震による地盤の変化によっておきます。1995年に発生した阪神・淡路の大震災では、家屋の倒壊や家具で身動きできなくなった方が、たくさんいました。

土肥のオレンジゾーンの住民は何人ですか。何人の方が亡くなり、被害はどのくらいと考えていますか。

答弁

オレンジゾーン内の人口は1,903名で、そのうち自力避難が困難な方は39人です。静岡県の想定では土肥地区の最大震度は震度6強、津波は最短6分で到達します。建物の全壊・焼失は1,500棟、死者は1,400人と想定されており、まずは、逃げる対策を進めています。



動画はこちら ※他の質問あり

質問 Question

土肥のオレンジゾーンの津波対策

質問 Question 「人口減少」克服する伊豆市に



木村 健一 議員

少子化問題について、市長は令和2年3月議会で「子育て世代が求めることをやっていくことに尽きるだろう」と答えていました。「高校進学による出費は、中学校までとは比べものならず、何かしらの援助を」という市民の意見への考えを伺います。また、私立、公立が区別なく、高校生が進路選択できる伊豆市について考えを伺います。

答弁

現在、全国で高校のあり方が大問題になっています。県では「少子化による高校再編成を検討していますが、問題の核心は私学を含め、高校無償化と考えています。静岡県は県立高校が90校、私学が43校で、県立高校だけを論じているのは、教育の機会均等を確保できるのか、大変危惧しています。考えるべきは、市内に高校がなくなるこの意味です。市内に高校進学を選択肢が残る場合や、高校が駿豆線北部に遠くだけになった場合の状況を、考える必要があるという認識です。



動画はこちら ※他の質問あり

質問 Question

公共施設のトイレの現状



間野 みどり 議員

令和2年から、オストメイト、多機能トイレについて質問してきました。その後の市の進捗状況はどうですか。また、障がいのある方の社会参加も多くなり、ユニバーサルシートの設置などの必要を感じますが、いかがですか。

答弁

市の公共トイレで障がいのある方のための多目的トイレ、オストメイト対応トイレは、ここ数年で4カ所程増えました。新しい施設の御幸橋駐車場、ひなた公園等が増えています。

また、高齢者や障がいのある方へのユニバーサルシートの設置はまだなく、高齢者や障がいのある方にとって、十分な環境が整っているとはいえない状況のため、予定される公共施設の改修や更新のタイミングを捉え、ユニバーサルシートの設置等を検討していきます。

※大型ベッド・大人用おむつ交換台（おむつ交換だけでなく、衣類の着脱などにも使用する）



動画はこちら ※他の質問あり



小長谷 順二 議員

本市は今、人口減少や少子高齢化等で極めて困難な課題に直面しています。今までの延長線上の対策には限界があり、AIやデジタル技術を活用し、「行政改革」の起爆剤として活用すべき時期に来ています。

本市の自治体DX・AIの活用状況と、地域の活力を支えるデジタル技術の可能性について伺います。

答弁

本市では、令和5年11月に「伊豆市DX推進方針個別計画」を策定し、計画的な推進を図っています。

具体的な取組みとして、医療資源が限られた地域の「医療格差」解消のためのオンライン診療の活用は、重要だと認識しています。

その他、「AIによる浸水予測」や「ドローンポート」などの、先進技術を活用した防災対策の高度化は、避難誘導や状況把握を可能にする有効な対策のひとつですが、技術面やコスト面での課題があると考えています。



動画はこちら

質問 Question

デジタル技術で挑む伊豆市のまちづくり

質問 Question 修善寺地区の小学校再編検討作業



鈴木 優治 議員

修善寺地区小学校の再編について、昨年12月定例会で、令和13年を目的に進める旨の回答があり、令和8年度一般会計予算に再編検討業務委託料、2,992万円が計上されています。令和6年度の出生数は60人でした。児童数が激減の時代に、学校統廃合の未来は必然です。6年後を目的とする根拠を伺います。

答弁

修善寺地区の小学校再編による教育環境の最適化は、児童数の減少が進む中、一刻の猶予もありません。しかし、平成29年に当時の中学校再編計画が白紙撤回となり、ようやく伊豆中学校開校という節目を迎えたところです。令和13年度を目的とする背景には、主に3つの制約があります。1つめは先行事業の優先、2つめに財政・マンパワーの平準化、3つめに合意形成の重要性です。可能な限り早期に、子どもたちに最適な教育環境を提供できるよう、全力を尽くします。



動画はこちら ※他の質問あり



尾垣 和則 議員

急速な高齢化で、独居高齢者や高齢者のみの世帯が増加しています。家族形態の変化や地域コミュニティの希薄化で、家庭や地域が担ってきた見守り機能が弱まる中、高齢者の孤立、買い物や通院の困難、災害時避難の不安、孤独死などの課題が全国で深刻化しています。今後5年程度を見据え、独居高齢者支援の強化方針を伺います。

答弁

高齢者支援の方針については、「誰もが住み慣れた地域でその人らしい生活を人生の最後まで送ること」を目指す、地域包括ケアシステムの深化・推進を柱と考え、取り組んでいます。

令和8年度、高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画の見直しを予定しており、令和7年度は計画策定に向けて、高齢者実態調査を実施しました。現在調査結果を集計中ですが、調査結果や各地区の現状、地域課題等を分析した上で計画見直しを行い、ひとり暮らし高齢者の支援に努めていきます。



動画はこちら

野焼きと市民の安全



波多野 靖明 議員

先日、修善寺ニュータウン近隣で火災が発生し、市民の安心・安全な生活に対する不安が高まっています。本市では住宅地と農地が近接する地域も多く、野焼きによる煙や臭い、火災の危険に不安を感じる市民の声もあります。市として、野焼きに対する認識と、安全確保に向けた対応について伺います。

答弁

野焼きに相当する行為は原則として禁止されており、火災や環境問題、周辺住民への影響につながるため、FMSなどを通じ、注意喚起を行っています。一方で、農地管理のための焼却など、例外として認められる場合がありますが、風速などの気象条件や焼却で、管理可能な草の量、消火準備など、適切な管理が前提です。今後も危機管理課、環境衛生課や農林水産課が連携し、適切な野焼きの徹底を図っていきます。



動画はこちら

少子超高齢社会での行政の役割と市民への期待



三田 忠男 議員

少子超高齢社会が進行し、各方面に様々な影響が出ています。そのような状況の中、市が取り組んできたこと、賛否両論あった新中学校で、いじめや不登校、教育課程の課題の現況、荒廃農地の解消のために新たな組織的取り組み、地域共生社会が求める行政の役割と、市民への期待について伺います。

答弁

令和7年度は「いつでも住み続けたいくなる伊豆市」に向け取り組みましたが、令和8年度は第3次総合計画で目指すまちの姿の実現に向け、職員中心に立案した来年度予算で取り組んでいきます。

伊豆中学校では、いじめが大幅に減少し、自己肯定感も高くなっています。授業は一斉指導から、生徒に合った学び方を選択できる授業スタイルに進化中です。農地の解消には、市独自の農地斡旋バンク等の組織化も選択肢と考えます。行政の役割は、仕組みを整え、その「調整役」を担うことであり、市民には主体的に関わっていただくことを期待します。



動画はこちら

防犯カメラの設置について



小川 多美子 議員

最近身近なところで強盗事件が発生しています。以前は遠いところの出来事のように思っていました。今では身近なところでも起きています。市内には防犯カメラを設置していると思いますが、どこに何台設置していますか。また、地域や個人で防犯カメラを購入、設置した場合に補助制度はありますか。

答弁

市が所有している観光、教育、保育施設や公園、駅などの公共施設に2月末現在で、205台の防犯カメラを設置してあります。

令和7年度まで、自治会や地域づくり協議会等の団体に対する県の補助金を活用した制度がありました。令和8年度から補助金はありません。個人に対する補助金はありませんが、地域では地域づくり協議会へ交付している「地域づくり交付金」を活用することが可能です。



動画はこちら ※他の質問あり

委員会の You Tube 公開 始めました!

【対象】

- 会期中の総務経済委員会、教育厚生委員会

伊豆市議会委員会

【公開期間】

- 委員会終了3日後～定例会最終日

※公開期間中のみ視聴できます

※公開期間内であっても、議長判断で予告なく公開中止となる場合があります。 ※次回公開は6月26日～(予定)

【注意(免責)事項】 ※詳細は公開ページの説明欄をご確認ください。 ・動画に掲載されている情報(文章・映像・音声等)に関する著作権は、伊豆市に帰属します。無断転載・利用などはしないでください。



新 議会モニターのみなさん 2年間よろしくお願ひします!

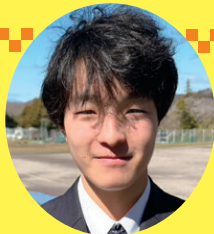
令和8年2月2日に委嘱状交付式・議会モニター会議を行い、7名(5名は再任)が就任されました。2年間よろしくお願ひいたします。



議会モニター提出意見はこちら



※委嘱状交付式で撮影



表紙写真の紹介！

おざき あいむ 伊豆総合高校 写真部3年 尾崎 藍武 さん

この写真は、伊豆総合高校自転車競技部の練習で、伊豆市のベロドロームのなかで撮影しました。

この場所ではコース全体が見渡せるので、撮影しやすく、自転車のスピードや迫力が伝わってきて楽しめました。

6月定例会の予定

6月定例会は

6月12日(金)から

時間：午前9時30分 から

場所：議場 (本庁2階)

月	火	水	木	金	土	日
6/8	9	10	11	12 本会議初日 議会広報委員会	13	14
15	16 本会議2日目 (一般質問)	17 本会議3日目 (一般質問)	18 本会議4日目 (一般質問)	19	20	21
22 本会議5日目 (議案質疑)	23 総務経済委員会	24 教育厚生委員会	25	26	27	28
29 議会運営委員会 (予備日)	30	7/1	2 本会議最終日 議会広報委員会	3	4	5

※日程は変更となる場合があります

※本会議はインターネット生中継あり

アンケートを実施中！

伊豆市議会だより 検索

アンケート回答フォーム



Webから回答
できます

ここから1分程度の
簡単なアンケート



アンケート内のそのほか感想やご意見欄には、
市政に対するご意見やご提案もご記入いただけます！

前月号アンケートでご意見をいただきました。(※ 回答一部抜粋)

- ・ページ数は適切、QRコードの利用はなし
- 伊豆市が子育て家庭にとって真の意味で良い市、また魅力ある市になるような政策を出す事を切に願う
(☆☆☆☆☆ 50・60代 やす様)

広報委員会
委員から

貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。
伊豆市民の負託を受けた二元代表制の伊豆市議会として、市民の声の代弁者となり、
政策の提言等に真摯に取り組んでまいります。

編集後記

3月定例会では新年度予算の審議が行われ、市長から施政方針が示されました。市長は「第3次総合計画を着実に進めるに尽きる」と述べ、めざすまちの姿を「守りながら変わり続けるまち伊豆市」としました。議会でもタブレット導入によるペーパーレス化や、新たに議員がそれぞれ生成AIを学ぶなどの取組みをしています。守るべきものを大切にしながらも変化を重ね、市民のみなさんと伊豆市の未来を考えていきたいと思えます。

議会広報副委員長

黒須 淳美

議会傍聴・視聴のご案内

本会議はどなたでも傍聴ができます。インターネットによる生中継と録画配信も行っています。



アクセスはこちら▶

傍聴に関するお問合せ (議会事務局)

Tel. **0558-72-9906**

